

成願寺

季報

149

令和8年8月18日
(2026年)

目次

「成願寺遺跡の発掘調査の成果について」 藤掛泰尚	1
中野第一小学校二年生来山	5
山内短信	8

発行 多宝山成願寺
〒164-0012 東京都
中野区本町 2-26-6
電話 03-3372-2711

特別寄稿

成願寺遺跡の発掘調査の成果について

中野区文化振興・多文化共生推進課 藤掛泰尚



発掘調査の様子

成願寺は約六百年前の室町時代に建立された中野区内でも歴史のある寺院で、中野を開拓した中野長者伝説が伝えられていることは広く知られています。実はこの歴史以外にも、成願寺周辺では、三箇所の発掘調査が行われ、縄文時代から戦時中までのさまざまな遺跡が発見されています。今回はその成果をご紹介します。

成願寺遺跡の立地と環境

成願寺一帯は中野台地上に位置し、南から東へ神

七月四日の火災についてご報告

この度の突然の火災発生に際し、お見舞いのお声掛けを多くの皆様よりいただきました事、ありがとうございます。誠にありがとうございます。

このような事態になること及びもつかなかったところ、特に近隣の皆様に御迷惑をおかけしており、恐縮しているところでございます。

関係役所の調査によると、七月四日（土）に発生した火災は、境内に隣接する成願寺所有の建物を借家として長年お住まいになっている御家族の居住地から発生しており、報道されているような成願寺の寮からの出火ではありませんでした。しかしながら、皆様には多大なご心配ご迷惑をおかけしたことに変わりはなく、誠に遺憾に存じているところでございます。

現在は土地家屋所有者としての当寺や、借家建物の居住者の御家族も立ち会つての現場調査も一段落いたしました。現状を報告させていただきます。

皆様の御好意、励ましに心より感謝申し上げます。

成願寺山主 合掌

田川が流れています。このように川が近い台地上は、飲み水の確保や魚や鳥などの水産資源を得やすいことから、昔から人が住みやすい場所でした。また江戸時代以降は青梅街道が近くを通るようになったことから人口が増えていった場所でした。このように歴史的、地理的背景から成願寺境内及び北西側一帯は成願寺遺跡（中野区№72遺跡）として埋蔵文化財（古い時代の遺物や遺構）が出土する範囲となります。

成願寺北遺跡（第1地点）

成願寺北遺跡（第1地点）は成願寺の北側に位置し、二〇〇一年に発掘調査が行われました。ここでは縄文時代から古墳時代の遺跡が発見されています。



右上が調査地点、左下は本堂の大屋根

(1) 石器（縄文時代）

縄文時代の遺構からは石が集中して出土する範囲から石器が発見されています。ここでは狩りをするために矢の先端に付ける矢尻や、



出土した矢尻

木を削ったり動物の皮をなめしたりするためのスクレイパーという平たく鋭利な石器が発見されています。その他には細かい剥片（石器を作る時にできる細かい破片）が数多く見つかったことから、この場所で石器の制作もしていたことが分かりました。

見つかった石器の大半は黒曜石で、黒いガラス質の石を割ると鋭利になります。黒曜石は中野では採れません。伊豆諸島神津島、長野県、北海道などがある有名な産地となっていることから、縄文人が遠くの地域と交流していたことが分かります。その他には一万年以上前の縄文土器が見つかり、この頃には人々が活動していたことが確認されています。

(2) 竪穴住居跡（弥生時代、古墳時代）

この調査では二軒の竪穴住居跡が見つかっていました。このうち一軒は弥生時代の竪穴住居跡でした。住居跡の中心近くには焼土を伴う炉（焚火の跡）が見つかり、その周辺にはおよそ一九〇〇年前の弥生土器の壺や台付甕が残されていました。これらは調



古墳時代の竈穴住居跡の竈

理や貯蔵のために用いられるもので、炉の周りの土は周囲と比べて硬く土間のように締まっていたため、炉を囲んで食事をしていたと考えられます。

もう一軒は古墳時代の竈穴住居跡で竈がありました。竈の両側にはおよそ一二〇〇年前の土師器（古墳時代の土器）を使用しており、強固に作られていました。出土した土師器は底部に意図的に穴を開けた甗（なべ）と呼ばれるもので、穀物を蒸して食べていたことが分かりました。さらに周辺で穀物を栽培していた可能性もあります。

この他に、食事を盛るための坏（土器の器）も数点出土しています。居住していた古墳時代の家族が使用していたものだと考えられます。

成願寺遺跡Ⅱ

成願寺遺跡Ⅱは成願寺の西側に位置し、二〇二二年に発掘調査が行われました。ここでは古墳時代の竈穴住居跡と太平洋戦争中の防空壕跡が発見されて

います。

(1) 竈穴住居跡（古墳時代）

竈穴住居跡の中からは炭化した木材が少量発見されています。これを科学分析した結果、樹種はクヌギの仲間であることが分かりました。この木材自体が竈穴住居の建築部材だったのか、調理を行うための燃料であったのかは不明ですが、一二〇〇年前の成願寺周辺の景観はクヌギの樹木が茂り、入手しやすい環境であったことが考えられます。

(2) 防空壕跡

この竈穴住居を一部壊すように階段付きの地下室が発見されています。この地下室は太平洋戦争中に



一人用の防空壕

作られた竈穴状の一人用の防空壕でした。成願寺の裏山には横穴状の防空壕が残されていることは有名ですが、横穴状の防空壕は斜面にしか作ることができません。中野区内は起伏が少ない平地なので、自宅の床

下に縦穴状の防空壕が多数作られたようです。発見されたものは規模が小さく、個人が避難する為のものであったと考えられます。この他には一万年前から五千年前の縄文土器も出土しています。

成願寺遺跡Ⅲ

成願寺遺跡Ⅲは成願寺の北側に位置し、二〇二三年に発掘調査が行われました。

(1) 防空壕跡

ここでも階段付の防空壕が発見されています。部屋の規模は約二・一m×二・二mと広く、深さは約一・五mありました。複数人が入ることができる規模で、



複数人用の防空壕

壁沿いの周囲には土留めの為に柱を立てた穴が十三箇所見つかっています。

さらに入口にも柱穴があるので開閉式の扉が付いていた可能性もあります。当時、防空壕を作るにはマニュアルが存在していました。発掘調査では天井部分はある

りませんでした。マニュアルでは地面を縦穴状に掘った後に天井は木材を横に置き、畳を並べてさらに上から土をかけていたようです。

(2) 出土遺物

この防空壕の中には赤い焼土や炭化物が大量に埋まっていました。その中から狛犬、御神酒徳利、急須、三八式歩兵銃の一部が発見されました。三八式歩兵銃は旧日本陸軍が採用したボルトアクション方式の小銃です。木質部は残っておらず、金属の尾筒部分のみ残っていました。通常はこの部分に製造番号や菊の御紋が印刻されていますが、印刻は観察できませんでした。どのような過程を経てもたらされたのかは今後の課題です。



三八式歩兵銃の尾筒

また狛犬や御神酒徳利が出土したことから、神社や社などが戦時中に存在していた可能性があることも分かりました。

成願寺一帯は一九四五（昭和二〇）年五月に米軍のB29による山の手大空襲で、焼野原になった

ことが知られています。防空壕内の焼土は空襲の片付けにより埋められたと考えられます。ちなみにこの時の空襲により成願寺の堂宇は焼失してしまい、いかに被害が大きかったか想像できます。

以上のように成願寺周辺は縄文時代から人が住み、戦時中に至るまでの人々の暮らしや歴史を知ることができる遺跡が発見されています。現在、発掘調査されているのは三箇所のみですので、この他の場所の調査が進めば、新たな歴史の解明が今後に進んでいくと思われます。



現在、中野区立歴史民俗資料館（江古田四丁目）では令和八年八月三十日（日）まで、「夏休みに探検

しよう！ 発掘されたむかしの中野」という企画展を行っています。今回紹介した成願寺北遺跡の遺物も展示していますので、この機会にお越しください。

中野第一小学校二年生来山

昨年十月三十一日（金）、近隣の中野区立中野第一小学校の二年生のみなさんが生活科「まちたんけん」の授業の一環として来山しました。

この授業は、「地域の人々と関わる活動を通して、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いができる」、「地域で働く人の地域に寄せる思いに気付く」、「地域に愛着や親しみをもとうとする」ことを「ねらい」として行われているそうです。



旧防空壕見学の様子



本堂で質問に答える副住職

旧防空壕の見学のあと、本堂において副住職が、

「成願寺はいつ作られましたか」、「旧防空壕はどうして作ったのですか」、「お坊さんは何人いるのですか」
「お経はどのようにして覚えるのですか」などの質問に答えました。後日子どもたちからお礼の絵手紙が届きました。

＊おいそがしいなかおしえてくれてありがとうございます。
います。ぼうくうごうに入らせていただきありがとうございます。
とうございます。

＊お坊さんへ わたしに一人一人にやさしい心をもつことが大せつとおしえてくれました。ありがとうございます。
うございます。きゆうぼうくうごうもせんそうでくずれることがなくてよかったです。

＊おいそがしいところありがとうございます。ぼうくうごうをみせてもらえてありがとうございます。
した。すごくまなべました。

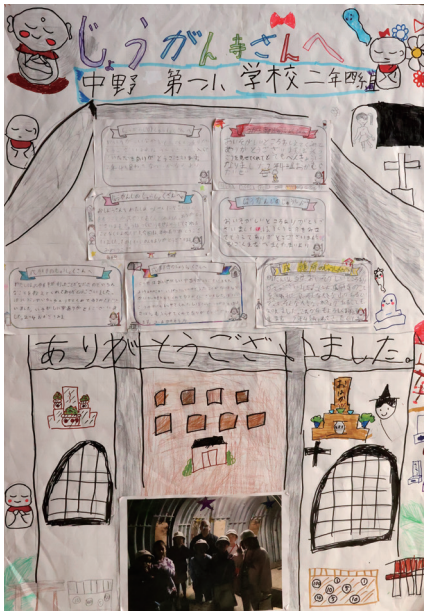
＊わたしが成願寺に行ったことがなかったのいろいろなことを教えてくれてありがとうございます。
ぼうくうごうやいろいろ入らせてくれてありがとうございます。
うございました。いそがしい中ありがとうございます。
しました。

＊この前はお忙しいなかありがとうございます。

ようちえんのころにいったい行ってたけど、入ったばしょとかいろいろ教えてくれてありがとうございます。
ございました。ぼうくうごうの中にも入らせてくれたりありがとうございます。

＊町たんけん当日、おいそがしいところありがとうございます。
ございました。たくさん成願寺のことを知れました。又、そんな大きな木ぎよがあるということを知れました。これからもよろしくお願いします。

＊おいそがしいところおしえてくれてありがとうございます。
ございます。ぼうくうごうを見させてくれてとてもべんきょうになりました。



権利の関係で、新聞記事を掲載できません。

山内短信

◎旧防空壕、読売新聞に掲載される

昨年十月十日（金）、読売新聞編集局社会部記者の石井恭平さんが旧防空壕の取材に訪れました。その記事が、連載「無言の証人・軍都の遺跡戦後80年」の第二回として十二月十二日（金）の朝刊にて紹介されました。前ページをご参照ください。

◎秋彼岸中日法要「修証義奉読会」のお知らせ

九月二十三日（水）秋分の日
 十一時 受付始まり 十二時 講談日向ひまわり師
 十三時 法要



法語を読み上げる副住職（昨年）



参列の皆様と「修証義」を奉読（昨年）

◎パリ五輪銅メダリスト、尾崎野乃香さん来山

去る四月十八日（土）、二〇二三年世界選手権レスリング女子六二kg級優勝、二〇二四年パリ五輪レスリング女子六八kg級銅メダリストの尾崎野乃香さんが来山。善心閣（旧幼稚園）にてトークショー「これまでの快挙に至る道のり／勝利への執念」が行われました。パリ五輪は階級を変えて出場の機会を得、見事銅メダルを獲得。当時の苦労話や普段の生活スタイルなど多岐に渡ってお話いただきました。

トークショー直前にキルギスで行われたアジア選手権優勝、五月全日本選抜選手権も優勝。二〇二八年開催予定のロス五輪での活躍が楽しみです。



パリ五輪の銅メダルを掲げる尾崎選手



会場の様子